

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年12月5日（水）

2 確認箇所

サブドレン集水設備清掃汚泥処理等作業現場（プロセス主建屋南西側）

3 確認項目

サブドレン集水設備清掃汚泥の処理状況等

4 確認結果の概要

サブドレン集水設備では定期的な清掃により配管等の付着物を除去しているが、今回は、清掃で発生した汚泥の処理状況等を確認した。

- ・汚泥の処理作業は、プロセス主建屋南西側のヤードに設置されている建物及びその周辺で行われていた。なお、屋外の作業エリアは木枠の仮堰と養生シートによる漏えい拡大防止措置が講じられていた。（写真1）
- ・プラスチック製の汚泥貯留専用のタンクに入っている汚泥をフィルタバッグ（ろ過袋）に抜き出し、建物の中でフィルタバッグを吊して水切りをしながら自然乾燥を行っていた。（写真2）
- ・フィルタバッグの下に置かれている受け皿に溜まったろ過水は、ひしゃくで容器に汲み上げられ、貯留・搬送用のプラスチック製タンクに貯留されていた。（写真3）
プラスチック製タンクに貯留されているろ過水は、今後、サブドレン中継タンクに搬送されて、サブドレン他浄化設備で処理されることになる。
- ・乾燥後の汚泥は、土のう袋に詰め替えられた後、フレキシブルコンテナに収納されて、ヤードの一面で一時保管されていた。（写真4）
フレキシブルコンテナは、今後、ガレキ類の一時保管エリアに運搬されて保管されることとなる。
- ・目視した限りでは、汚泥やろ過水等の飛散、流出は確認されなかった。



（写真1）

汚泥処理作業現場の状況

（南西側から撮影）



(写真 2 - 1)
汚泥の抜き出し作業の状況



(写真 2 - 2)
汚泥の水切り、乾燥の状況



(写真 3 - 1)
ろ過水の汲み上げ作業の状況



(写真 3 - 2)
ろ過水の貯留作業の状況



(写真 4)
乾燥した汚泥の一時保管の状況

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。